



コミュニケーションボードの作成

公共交通機関での意思疎通に

聴覚障害の児童生徒が、通学途上など、街中で困ったことに遭遇したとき、どうしたら自分の思いを伝えることができるか？聴覚障害の人が困っていることがわかつても、どうやって伝えたら良いのか？そんな日常の場面を想定し、少しでもコミュニケーションがスムーズにできたらうれしい、安心できるという思いから作られました。

2024.12.23(月)



滋賀県立
聾話学校

11月20日、今年度PTAで作成されたコミュニケーションボードが草津警察署管内に置いていただけることになり、贈呈式が行われました。この様子が、11月23日の京都新聞滋賀版に掲載されました。

これは大阪府立堺聴覚支援学校のPTAの方々が作られ、本校のPTAでも是非取り組みたいという願いから作られたものです。

都 2024年(令和6年)11月23日 土曜日

2024年(令和6年)11月23日 土曜日

意思疎通に役立てて

絵と文字併記のボード作成



聾話学校PTA、草津署に寄贈
学校PTAは20日、コミュニケーション支援ボードを草津署に寄贈しました。ボードは同署や管内11カ所の交番と駐在所に配備される。支援ボードは7枚1



コミュニケーション支援ボードを代表して寄贈する県立聾話学校の中塚校長(右)
草津市・草津署

県立聾話学校PTAが寄贈した支援ボード。聴覚障害のある人が警察官と円滑なコミュニケーションを図る目的で作られた



絵と文字を組み合わせて作られており、「落としました」「拾いました」などと書かれた文字を指さすことで警察官に相談したい内容が円滑に伝えられる。作成に携わったPTAの中川さんは、「コミュニケーションに困難を抱える方が使いやすいように提示してもらえた」と話した。(飯島将太)